

情報コミュニケーション学会 第17回全国大会プログラム

大会テーマ：

『STEAM教育の第一歩 ～データとの対話をもたらす新たな発見～』

2020年2月29日（土）・3月1日（日）

長崎大学 文教キャンパス

主催 情報コミュニケーション学会

共催 次世代大学教育研究会

協力 トレンドマイクロ株式会社

第 17 回情報コミュニケーション学会全国大会を迎えるにあたり

情報コミュニケーション学会会長
畿央大学 西端 律子

情報コミュニケーション学会第 17 回全国大会の開催にあたりまして、会長としてご挨拶申し上げます。

2020 年（令和 2 年）は、4 年に 1 度のオリンピック・パラリンピックイヤーです。また、教育現場にとっては、およそ 10 年に 1 度の学習指導要領の改訂の時期でもあります。「言語能力の確かな育成」「理数教育の充実」「伝統や文化に関する教育の充実」などが改訂のポイントとして挙げられています。小学校では特に、①高学年での「外国語科」の導入 ②「道徳」の教科化（平成 30 年度に先行実施済）③プログラミング的思考の育成 等への対応が進められています。さらに、環境整備についても、2019 年 12 月に児童生徒向けの 1 人 1 台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する GIGA スクール施策が発表されました。同じく 2019 年 12 月に発表された新しい「教育の情報化の手引」では、プログラミング教育について 26 ページ分の記載があります。

このように、プログラミング教育の全面実施に向けて動きつつあるのですが、「やっていないことを教えないといけない」「何から始めればいいのかわからない」「学びたくても時間がない」と不安を吐露する先生方も少なくありません。しかし、そのような先生方に当方が研修などでまずお伝えしているのは、プログラミング的思考である「論理的に考えていく力」は今始まったことではない、ということです。すなわち、プログラミング教育は、論理的に考えていく力を育成するという点では「不易」であり、教科内容の一部として取り入れていくという点では「流行」でもあります。

本大会では、STEAM（Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics）教育というより考え方のもととなる領域をテーマとしました。思えば、江戸時代、長崎県出島は、ヨーロッパ文化の入り口であり、新しいもの、新しい言葉が日本に普及することとなりました。本大会でのさまざまな研究成果や議論が、多くの人たちに広がっていくことを祈念し、会長挨拶とさせていただきます。

以上

第 17 回全国大会開催にあたって

第 17 回全国大会実行委員長
長崎大学 丹羽 量久

元号が「令和」に改元されて最初の全国大会を長崎大学にて開催いたします。長崎の地では 6 年ぶり二度目の開催となりました。たくさんの方々のご来場を心待ちにしております。

さて、今大会では、メインテーマを「STEAM 教育の第一歩 ～データとの対話をもたらす新たな発見～」に設定し、関連する企画を盛り込んでいます。初日の基調講演には、上智大学理工学部教授の田村恭久先生にご登壇いただきます。学習者の学習履歴を詳細に分析してフィードバックする取り組みについて、関連する研究の動向や実用化の課題等を概観してください。

また、二日目の午前中に企画セッションとして二つのワークショップを設けています。一方は、情報コミュニケーションにおけるデータサイエンスの位置づけについて、話題提供者と参加者が一緒になって、実データから価値ある情報を浮かび上がらせる重要性について議論していきます。もう一方は、トレンドマイクロ株式会社のご協力を得て、大学機関において発生した情報セキュリティインシデントへの対応について検討します。昨今、教育機関もサイバー攻撃の脅威にさらされています。また、情報漏洩等の人的要素が原因となるインシデントが数多く発生しています。非常事態を想定して、組織内外に対してどのような初動対応を選択すべきかをボードゲームを通じて学習できます。

また、メインテーマに深く関連する 40 件弱の研究発表が予定されています。各セッションでは、当学会の特徴であります幅広い分野の方々により、多彩な観点からの深い議論が期待されます。皆さまが楽しみながら有意義な情報収集と情報交換ができる場となるよう願っております。

以上

情報コミュニケーション学会第17回全国大会 日程表

第一日目 2020年2月29日(土)

時刻	イベント			
11:00-	受付 A-24 教室			
12:45-12:55	オープニングセッション 開会挨拶 A-21 教室			
13:00-14:00	基調講演 「学習履歴分析の研究と実用化の状況」 上智大学理工学部教授 田村恭久先生 A-21 教室			
14:05-14:30	企業展示紹介 A-21 教室			
14:45-15:55	一般研究発表 セッション1			
	A1 教育支援とプログラミング 座長：阿部 一晴 (京都光華女子大学) A-22 教室	B1 データの活用と分析 座長：針尾 大嗣 (摂南大学) A-23 教室	C1 モデル 座長：小田桐 良一 (園田学園女子大学) A-32 教室	D1 次世代大学教育研究会 A-33 教室
15:55-16:10	休憩 ※A-24 教室に休憩コーナーがあります。			
16:10-17:20	一般研究発表 セッション2			
	A2 情報リテラシー 座長：高見澤 秀幸 (秀明大学) A-22 教室	B2 教育実践 座長：若菜 啓孝 (長崎大学) A-23 教室	D2 次世代大学教育研究会 A-33 教室	
17:45-19:45	情報交換会 会場：長崎大学生協食堂			

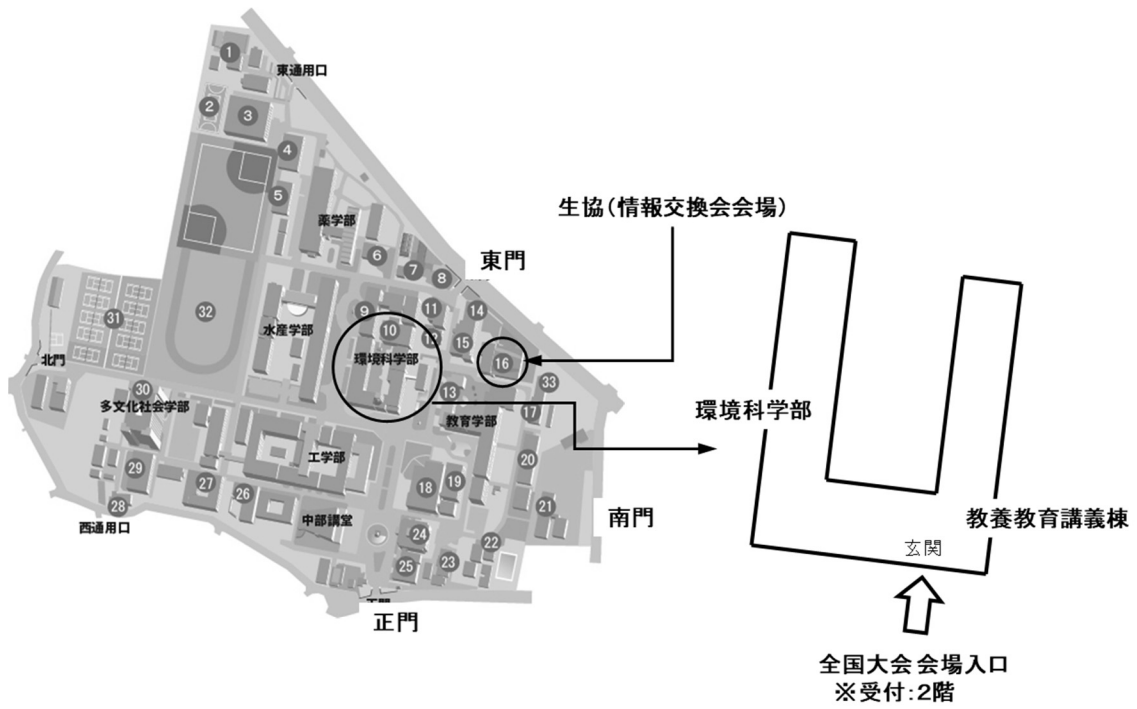
※ 企業展示は2階のA-24教室にて開催しております。(11:00-17:15)

情報コミュニケーション学会第17回全国大会 日程表
 第二日目 2020年3月1日(日)

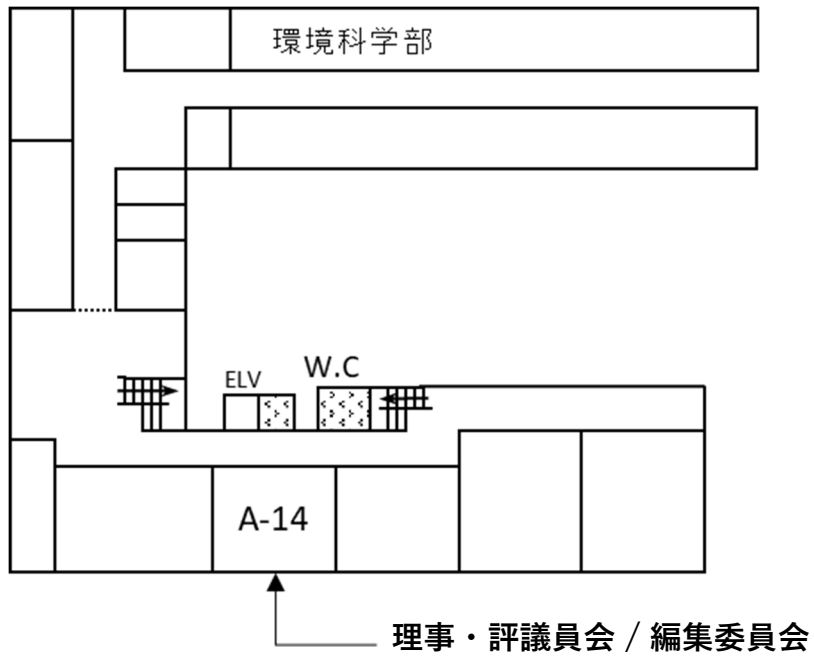
時刻	イベント		
8:45-	受付 A-24 教室		
9:00-10:10	一般研究発表 セッション3		
	A3 情報と社会 座長：寺尾 敦 (青山学院大学) A-22 教室	B3 STEAM 教育 座長：庄司 一也 (帝京平成大学) A-23 教室	C3 データ解析とモデル 座長：後藤 晶 (明治大学) A-32 教室
10:30-12:00	企画セッション1 「情報コミュニケーションとデータサイエンス」 コーディネーター：後藤 晶 (明治大学)・寺尾 敦 (青山学院大学) A-22 教室		
10:30-12:00	企画セッション2 「全ての教育関係者に贈る組織的セキュリティのススメ」 ～サイバー関係の事件発生！その時どうする最初の一手～ コーディネーター：上繁 義史 (長崎大学) A-33 教室		
12:10-12:40	総会 A-21 教室		
12:40-13:40	昼食		
13:40-14:50	一般研究発表 セッション4		
	A4 教育評価 座長：上繁 義史 (長崎大学) A-22 教室	B4 情報と技術 座長：永谷研一 (株式会社ネットマン) A-23 教室	
15:00-15:15	クロージングセッション 閉会挨拶 A-22 教室		

※ 企業展示は2階のA-24教室にて開催しております。(8:45-14:30)

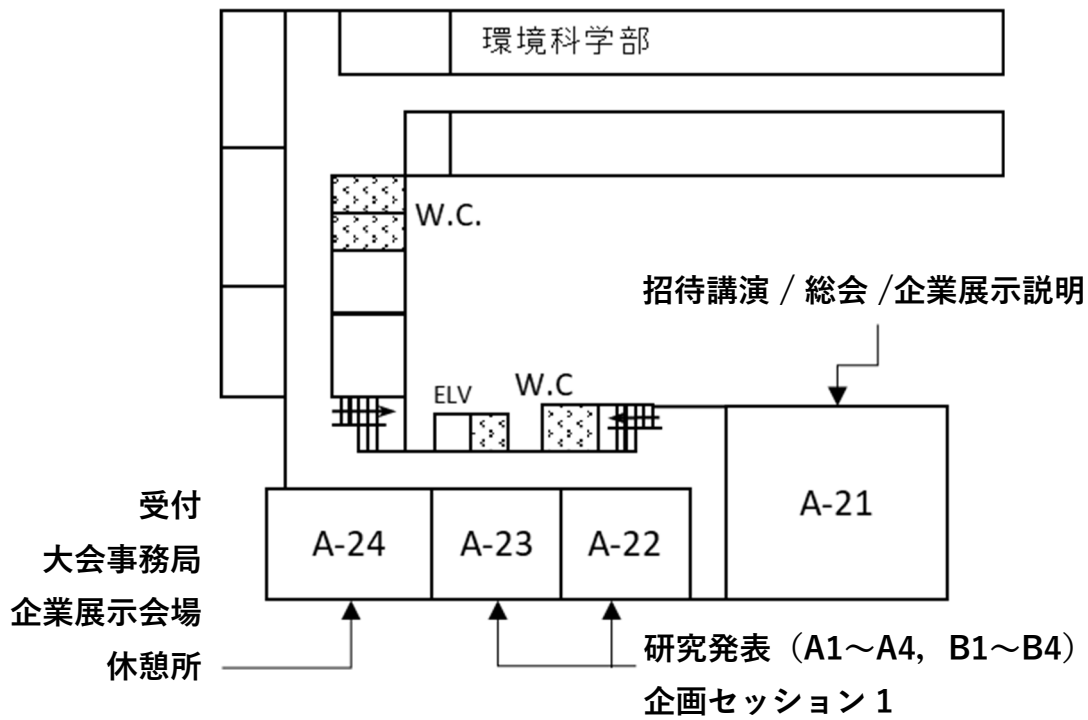
会場案内



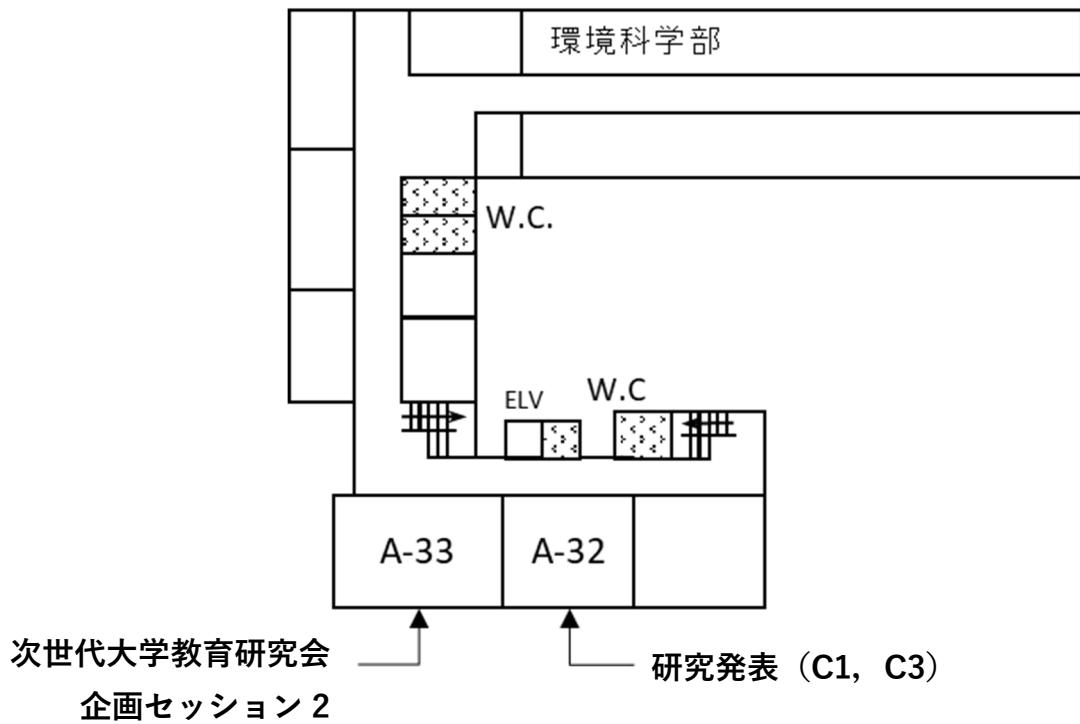
長崎大学 文教キャンパス



教養教育講義棟 1階



教養教育講義棟 2階



教養教育講義棟 3階

基調講演

学習履歴分析の研究と実用化の状況

上智大学理工学部教授

田村 恭久 氏

<講演日時>

2020年2月29日(土) 13:00-14:00 A-21 教室

<講演概要>

学習履歴分析やラーニングアナリティクス (Learning Analytics: LA) と呼ばれる分野の研究や実用化の状況を概観する。LA とは、学習者が学習を進める過程で蓄積された履歴データの分析・利活用を意味する。この分野は、2011年に発足した国際会議以降に研究が盛んになった。LMSに蓄積された履歴の分析・利活用の研究が多いが、カメラやマイクなどを用いたマルチモーダル履歴の利活用も多く発表されている。一方、学習者 PC が普及しつつある現在、LAの実用化が注目されている。日本では文部科学省と総務省の実証事業で、履歴の分析・可視化・フィードバックの実験が行われている。また複数の私教育ベンダーでも徐々に実用化が始まっている。ただ、公教育と私教育が連携して履歴情報を交換して利活用するためには、学習者 ID や単元 ID などのデータインフラ整備といった課題が浮上している。

田村恭久 (たむら やすひさ)

上智大学理工学部情報理工学科教授 博士 (工学)

教育の情報化, 協調学習, 電子教科書, 学習履歴分析の研究に従事。学習分析学会理事長, 日本 e ラーニング学会会長, ICT Connect 21 理事/技術標準 WG 座長, ISO/IEC JTC1/SC36/WG8(Learning Analytics Interoperability) Co-leader, 総務省スマートスクール・プラットフォーム実証事業評価委員, 情報処理学会, 電子情報通信学会, 教育システム情報学会, 日本教育工学会 各会員。

企画セッション

企画セッション 1:

「情報コミュニケーションとデータサイエンス」

コーディネーター：後藤 晶（明治大学）、寺尾 敦（青山学院大学）

A-22 教室

3月1日（日）10:30-12:00

「情報」および「コミュニケーション」の2つの言葉を冠に据える本学会においては、データと付き合う能力を各会員が身につけると同時に、研究として実践が求められる。

本ワークショップにおいては情報コミュニケーションにおけるデータサイエンスの位置付けを検討する。具体的には、ワークショップ開始時に実験を行った上で、定量的データを用いた研究に関する話題提供（情報共有）の後、参加者と実験結果をベースとした議論（課題発議と検討）を行う。

企画セッション 2:

「全ての教育関係者に贈る組織的セキュリティのススメ」

～ サイバー関係の事件発生！その時どうする最初の一手～

コーディネーター：上繁義史（長崎大学）

A-33 教室

3月1日（日）10:30-12:00

教育現場さえも日々サイバー攻撃の脅威にさらされています。今年2020年の東京五輪・パラリンピックに向けて、セキュリティ対策は全ての組織にとって「待ったなし」です。そこで、本企画セッションでは、トレンドマイクロ株式会社のインシデント対応ボードゲームを通じて、インシデントの内容分析から最初の対応の決定までの過程を体験していただく機会をご用意しました。教育機関向けにアレンジされたこのゲームにぜひご参加ください。

一般研究発表

2月29日(土) 14:45-15:55 一般研究発表 セッション1

A1: 教育支援とプログラミング

座長: 阿部 一晴 (京都光華女子大学)

A-22 教室 29日(土) 14:45-15:55

A1-1 ペッパー君でプログラミング

～Robo Blocks で何ができるのか～

高見澤 秀幸 (秀明大学)

A1-2 ゲームプレイのRPA: プログラミング教育への活用

○森 善龍 (大阪電気通信大学 総合情報学部)

松本 貴裕 (大阪電気通信大学大学院 総合情報学研究科)

横山 宏 (大阪電気通信大学 総合情報学部)

高見 友幸 (大阪電気通信大学 総合情報学部)

A1-3 社会人と学生が参加する IT 勉強会を通じた学生の意識調査の試み

山川 広人 (公立千歳科学技術大学)

B1：データの活用と分析

座長：針尾 大嗣（摂南大学）

A-23 教室 29 日（土）14:45-15:55

B1-1 グループサイズと未・既読状態によるグループ LINE でのネガティブ感情の発生

- 加藤 尚吾（東京女子大学）
- 加藤 由樹（相模女子大学）
- 千田 国広（東映アニメーション）
- 立野 貴之（松蔭大学）

B1-2 電子メールにおける送受信者間の感情伝達の正確さと感情の種類の関係

- 加藤 由樹（相模女子大学）
- 加藤 尚吾（東京女子大学、教育テスト研究センター）

B1-3 Twitter の投稿画面における重視項目と利用行動の関連

- 山田 純加（東京女子大学大学院）

B1-4 商品パッケージ上での飲酒リスク情報提供は消費者の「適度な飲酒」を促すか？

- 宮脇 健（日本大学）
- 木村 敦（日本大学）

C1：モデル

座長：小田桐 良一（園田学園女子大学）

A-32 教室 29 日（土）14:45-15:55

C1-1 ナレッジ・マネジメント支援 BOT：KuBOT の試作

岩井 憲一（滋賀大学）

C1-2 情報社会における監視と信頼に関する実験的検討

後藤 晶（明治大学）

C1-3 Satisfice に対する技術的対応策としての Intro.js 効果の検討

—オンライン調査の信頼性向上に向けて—

○山本 輝太郎（明治大学）

後藤 晶（明治大学）

C1-4 日常の『ごみ出し』及び ICT を活用した地域コミュニティ向上モデルの実証実験

○江島 直也（NEC ソリューションイノベータ株式会社）

笹鹿 祐司（NEC ソリューションイノベータ株式会社）

日室 聡仁（NEC ソリューションイノベータ株式会社）

福井 知宏（NEC ソリューションイノベータ株式会社）

後藤 晶（明治大学）

D1：次世代大学教育研究会セッション

A-32 教室 29 日（土）14:45-15:55

2月29日(土) 16:10-17:20 一般研究発表 セッション2

A2: 情報リテラシー

座長: 高見澤 秀幸 (秀明大学)

A-22 教室 29日(土) 16:10-17:20

A2-1 リアクションペーパーの質問内容に注目した著作権リテラシー教育の検討

野田 佳邦 (大分県立芸術文化短期大学)

A2-2 セルフチェックシートによる情報リテラシー演習科目学修成果可視化の試み

○阿部 一晴 (京都光華女子大学)

酒井 浩二 (京都光華女子大学)

A2-3 大学のプレゼン教育における個別指導法の組み込みの研究(1)

—GPS把握シートを用いて—

○中谷 陽仁 (大阪商業大学)

佐藤 敦子 (大阪商業大学)

正木 幸子 (大阪商業大学)

横山 宏 (大阪電気通信大学)

B2：教育実践

座長：若菜 啓孝（長崎大学）

A-23 教室 29 日（土）16:10-17:20

B2-1 情報セキュリティ教育におけるゲーム演習の実践について
上繁 義史（長崎大学）

B2-2 観光情報学系演習科目の展開と学生の関心について
若菜 啓孝（長崎大学）

B2-3 志望する職業の存続可能性に焦点化した情報教育の授業実践
大西 洋（大阪府立東百舌鳥高等学校）

B2-4 MFC（MY FUTURE CAMPUS）課題解決プロジェクトによる低学年向けキャリア教育の試み
－医療スポーツ系学生を対象としたプレインターンシップの実践と学習成果の可視化－
○庄司 一也（帝京平成大学）
高谷 朱美（株式会社マイナビ）

D2：次世代大学教育研究会セッション

A-33 教室 29 日（土）16:10-17:20

3月1日(日) 9:00-10:10 一般研究発表 セッション3

A3: 情報と社会

座長: 寺尾 敦 (青山学院大学)
A-22 教室 1日(日) 9:00-10:10

A3-1 レブナアツモリソウ活用による礼文島活性化に関する考察

- 土居 拓務 (明治大学)
- 水野 勝之 (明治大学)
- 橋本 周弥 (明治大学)
- 室岡 修平 (明治大学)

A3-2 香川県の豊島における環境志向型行動の4分類

- 権 善喜 (明治大学)
- 山下 洋史 (明治大学)
- 萩原 統宏 (明治大学)

A3-3 議会事務局から提供されるオープンデータの事例研究

- 本田 正美 (東京工業大学)

A3-4 Q&A コミュニティにおける質問文からの製品情報の分析

- 吉見 憲二 (佛教大学)
- 田中 康裕 (社会データ構造化センター)
- 針尾 大嗣 (摂南大学)
- 谷本 和也 (大阪市立大学)
- 源城 かほり (長崎大学)
- 岩井 憲一 (滋賀大学)
- 小館 亮之 (津田塾大学)

B3 : STEAM 教育

座長：庄司 一也（帝京平成大学）

A-23 教室 1 日（日）9:00-10:10

B3-1 中学校技術科の教材開発における S D G s との関連(1)

— 理論背景の整理と学習モデルの開発に向けて —

○藤本 光司（芦屋大学大学院）

中井 健太郎（芦屋大学 大学院 教育学研究科 M1）

岸本 卓朗（芦屋大学 大学院 教育学研究科 M1）

池田 聡（芦屋大学）

B3-2 中学校技術科の教材開発における SDGs との関連(2)

— 再生可能エネルギーを用いた教材開発について —

○中井 健太郎（芦屋大学 大学院 教育学研究科 M1）

藤本 光司（芦屋大学 大学院）

岸本 卓朗（芦屋大学 大学院 教育学研究科 M1）

盛谷 亨（芦屋大学 大学院）

B3-3 中学校技術科における S D G s との関連(3)

— 稲作を題材とした生物育成と持続可能な教材モデル —

○岸本 卓朗（芦屋大学大学院 教育学研究科 M1）

藤本 光司（芦屋大学大学院）

中井 健太郎（芦屋大学大学院 教育学研究科 M1）

渡 康彦（芦屋大学大学院）

C3：データ解析とモデル

座長：後藤 晶（明治大学）

A-32 教室 1日（日）9:00-10:10

C3-1 2つの集団のゲートキーパーに対する事前情報配分モデル

山下 洋史（明治大学）

萩原 統宏（明治大学）

C3-2 確証バイアスの影響と批判的思考との関連に関する研究

ーワクチン有害説を対象事例としてー

○楊 瑞卿（明治大学大学院情報コミュニケーション研究科）

山本 輝太郎（明治大学大学院情報コミュニケーション研究科）

石川 幹人（明治大学大学院情報コミュニケーション研究科）

C3-3 ビッグデータをもちいたユーザの感性情報の可視化に関する検討

○田中 康裕（社会データ構造化センター）

針尾 大嗣（摂南大学）

吉見 憲二（佛教大学）

岩井 憲一（滋賀大学）

源城 かほり（長崎大学）

谷本 和也（大阪市立大学）

小館 亮之（津田塾大学）

C3-4 テキストマイニングによるサーフィンの普及に向けた課題の分析

-共起ネットワークによる可視化の試み

○谷本 和也（大阪市立大学）

吉見 憲二（佛教大学）

田中 康裕（社会データ構造化センター）

岩井 憲一（滋賀大学）

源城 かほり（長崎大学）

針尾 大嗣（摂南大学）

小館 亮之（津田塾大学）

3月1日(日) 13:40-14:50 一般研究発表 セッション4

A4：教育評価

座長：上繁 義史（長崎大学）

A-22 教室 1日(日) 13:40-14:50

A4-1 統計学入門講義の履修者における統計学の基礎知識についての調査

○佐藤 柚弥（青山学院大学社会情報学研究科）

寺尾 敦（青山学院大学社会情報学部）

A4-2 電子教材を学習するために学生が選択する媒体

○寺尾 敦（青山学院大学）

小林 伸二（青山学院大学）

杉谷 悠樹（青山学院大学）

瀬口 惟孝（青山学院大学）

Liu ZongHao（青山学院大学）

皆川 哲彦（青山学院大学）

A4-3 情報「過多」時代とは何か

—情報過多時代とは何かに関する予備的研究—

中嶋 克成（徳山大学）

○寺田 篤史（徳山大学）

佐久間 貴士（徳山大学）

B4：情報と技術

座長：永谷 研一（株式会社ネットマン）

A-23 教室 1日（日）13:40-14:50

B4-1 技術科教育としての産学連携とカリキュラム・マネジメント（1）

－ エネルギー変換分野における神戸と但馬の授業実践 －

○藤本 光司（芦屋大学）

鈴木 茂士（神戸市立垂水東中学校）

井上 健司（川崎重工（株））

荻窪 誠侑（芦屋大学 大学院 教育学研究科 M1）

B4-2 技術科教育としての産学連携とカリキュラム・マネジメント（2）

－ 問題解決力の育成を目的とした学生の主体的な学び －

○荻窪 誠侑（芦屋大学 大学院 教育学研究科 M2）

藤本 光司（芦屋大学 大学院）

瀧 巖（芦屋大学）

B4-3 教員採用試験における専門分野への対応

－ オリジナル問題集の制作と学生調査による評価 －

○鈴木 太士（芦屋大学 大学院 教育学研究科 M2）

藤本 光司（芦屋大学 大学院）

B4-4 教育実践者の成長過程におけるハビトゥスの概念枠（2）

○高橋 朋子（近畿大学教職教育部）

東郷 多津（京都ノートルダム女子大学）

西之園 晴夫（NPO 法人学習開発研究所）

情報コミュニケーション学会第17回全国大会実行委員会

(敬称略 五十音順)

大会実行委員長

- 丹羽 量久 (長崎大学)

大会実行委員

- 阿部 一晴 (京都光華女子大学)
- 上繁 義史 (長崎大学)
- 小田桐 良一 (園田学園女子大学)
- 垣東 弘一 (園田学園女子大学短期大学部)
- 金井 猛徳 (仁愛女子短期大学)
- 鴨谷 真知子 (Cross Media +Design)
- 栗山 健 (学研教育総合研究所)
- 後藤 晶 (明治大学)
- 庄司 一也 (帝京平成大学)
- 高見澤 秀幸 (秀明大学)
- 寺尾 敦 (青山学院大学)
- 永谷 研一 (株式会社ネットマン)
- 畑 耕治郎 (大手前大学)
- 針尾 大嗣 (摂南大学)
- 松永 公廣 (Learning Media 工房)
- 若菜 啓孝 (長崎大学)

情報コミュニケーション学会第17回全国大会プログラム

発行日：2020年2月29日

発行者：情報コミュニケーション学会

事務局：〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7丁目29-1

園田学園女子大学 情報教育センター

E-mail：cis@sonoda-u.ac.jp

U R L：http://www.cis.gr.jp/